

第3学年 英語科学習指導案「To Our Future Generation」

3年3組 36名(男子16名・女子20名) @南舎2階多目的室 授業者 JET:松岡 宏行

ALT: Daniel Vandiver

<英語科における「主体的・対話的で深い学び」の姿>

- 主体的 : 目的をもち、積極的にコミュニケーションを行う姿。
- 対話的 : 自分の気持ちや考えをもち、それを相手の立場や意向を受け入れながらコミュニケーションを行う姿。
- 深い学び : コミュニケーションを行うことで、驚きや発見があり、さらに考えを再構築する姿。

<単元のねらい>

- 防災や災害について書かれた英文を読み、内容を理解することができる。
- 地震を知らないアメリカ出身のダン (ALT) に、災害への対応や対策、自分の考えを伝えることができる。
- 間違いをおそれずに、積極的に発表したり、相手に質問や意見を述べたりすることができる。
- やり方やすべきことについて述べることができる。人にとって必要なことや難しいこと、人にしてほしいことを述べることができる。
- 自分や友達について、さまざまな情報をたずねたり伝えたりすることができる。

<単元指導計画(ねらいと評価規準)>

イ(表現), ロ(理解), ハ(知識)

L聞くこと, S話すこと, R読むこと, W書くこと

時	ねらい	評価規準
1 ハ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 災害や防災に関するプレゼンテーションを聞く活動を通して、本単元での学習活動への見通しをもつことができる。 ◆ 疑問詞+不定詞(how to)の形、意味、用法を理解することができる。 	ハ。「疑問詞+to+動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。
2 ロ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国人の生徒に配られた、避難訓練についてのお知らせを読むことを通して、災害について自分の意見を伝えることができる。 	ロ。指示などを読んで、すべきことについて理解することができる。(L) (R)
3 イ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ リカルドと咲の対話を読む活動を通して、災害について自分の意見を伝えることができる。【本時】 	イ。災害について自分の意見を話すことができる。(S) (W)
4 ロ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 震災に関連する話を読む活動を通して、その内容に関する質問に答えることができる。 	ロ。説明文を読んで、その内容を理解することができる。(R)
5 イ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インタビューを読む活動を通して、バイオリンメーカーである中澤宗幸さんの思いを考えることができる。 	イ。自分の考えを英語で書くことができる。(W)
6 ロ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 震災に関連する話を読む活動を通して、その内容に関する質問に答えることができる。 	ロ。説明文を読んで、その内容を理解することができる。(R)
7 イ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 震災に関連する話を読む活動を通して、災害の記憶を引き継いでいくために、自分たちに何ができるか考えることができる。 	イ。自分の考えを英語で書くことができる。(W)
8 イ ロ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 緊急放送を聞く活動を通して、その内容に関する質問に答えることができる。 ◆ 自分や友達について、さまざまな情報をたずねたり伝えたりすることができる。 	イ。自分や友達について、さまざまな情報をたずねたり伝えたりすることができる。(S) ロ。絵やグラフを参考に緊急放送や発表を聞いて、放送の内容やアンケート結果の詳細を聞き取ることができる。(L)
9 ハ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 疑問詞+不定詞(how/what/when to), It is ... for ~ to -, want ... to ~の形、意味、用法を理解し、正しく英文を作ることができる。 	ハ。「疑問詞+to+動詞の原形」、「It is ... (for+人)+to+動詞の原形」、「want+ (人)+動詞の原形」の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。
10 イ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 災害や防災について、自分の考えや知っていることを5文以上の英語で書くことができる。 	イ。災害や防災に関して、自分の意見をもち、5文以上で表現できている。(W)
11 イ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 乗り換え案内をする活動を通して、乗り物での行き方をたずねたり、教えたりすることができる。 	イ。乗り換えのある乗り物での行き方をたずねたり、教えたりすることができる。(S)
12	◆ 単元テスト	

<本時のねらい>

リカルドと咲の対話を読む活動を通して、災害について自分の意見を伝えることができる。

<本時の展開> (本時の位置 3 / 12)

過程	学 習 活 動	研究内容 2 に関わる指導・援助
導入	<p>① Small Talk 与えられたトピックについて、1 分間ペアで話をする。</p> <p>② 課題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 災害について自分の意見を伝えよう。 </div>	<p>① Small Talk では毎時間ある話題に対して考えや理由を即興的に述べ合う活動に取り組み、コミュニケーションを継続していくための語彙、態度を身に付けさせる。話題はできるだけ自然なものを与える。</p>
展開	<p>③ 新出語句の意味・発音を確認する (個人, ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT に続いて発音する。 ・ペアと確認する。 ・It is ... for ~ to - はフレーズとして意味を理解する。 <p>④ リカルドと咲の対話内容を理解する (個人, ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リカルドと咲の災害についての意見を理解する。 視点: Saki と Ricardo のどちらが災害や防災についてよく知っているか... ◆ 大地震を想像するのは難しい。 ◆ 地震はいつ起きるか分からない。 ◆ 災害に向けて準備をしておくことが必要。 ◆ 過去を心にとめておくことが大切。 	<p>② 自然災害について JTE が ALT に意見を伝えることで、本時の活動の見通しをもたせる。災害についての情報を英語でインプットする。</p> <p>③ ICT を活用し、新出語句の絵を用いながら単語をイメージ化して覚えていくことができるようにする。難解な語句をワークシートに位置付ける。</p> <p>④ 読み取りの視点を与えることで、目的をもって対話文を読ませる。この時点で一度、災害についての意見を交流し板書しておく。</p>
深め	<p>⑤ 音読練習 (全体, 個人, ペア) choral reading, buzz reading, phrase reading, blank reading, read and look up, shadowing</p>	<p>⑤ さまざまなパターンの音読練習を組み合わせ、十分な音読練習を確保することで終末の活動 (アウトプット) に生かせるようにする。</p>
終末	<p>⑥ 災害について自分の意見を伝える (ペア, 全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Retelling ・Writing <p>仲間の意見や英語表現を参考にし、自分の意見を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア交流 <p>お互いの英文を読み、アドバイスをする。時間がある場合は、相手の書いた内容に対してコメントする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Ricardo thinks it's necessary for us to prepare for disasters. I think so, too. We have some kinds of natural disasters in Japan such as earthquakes, floods, and typhoons. We had the <i>Nishi Nihon</i> heavy rain disaster this summer, too. I feel sorry for people there, and I'm scary of disasters. These disasters may happen at any time. It's important for us to keep the past in mind.</p> </div> <p>⑦ まとめ・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことをワークシートに記入する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>災害について意見を持ち、自分の言いたいことをペアに伝えることができた。</p> </div>	<p>⑥ 既習表現を参考にしている生徒を価値付け、広める。生徒が使っている表現の中で、他の生徒も使えそうなものを抽出し板書する。また、陥りやすいエラー、共通した間違いを取り上げ、修正するように板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手な生徒がアイデアをまとめやすいように、災害に関するフレーズバンクを位置づける ・[主語+動詞]の構文エラーについては、その都度指摘し、正しい語順で書けるようにする。 <p>⑦ 課題と照らし合わせてできるようになったことを振り返らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価規準> 災害について、自分の意見を伝えることができている。 <評価場面> 活動の様子、ワークシート</p> </div>